

施策 1 上下水道事業の充実

主要施策(41) 上水道事業の充実

将来あるべき姿

公営企業としての経営原則を踏まえ、上水道事業を健全に経営し、安全でおいしい水を安定して供給することにより、市民が安心して使用でき、快適なくらしが維持されています。

協働の取組

① 上水道の安定供給

現状と課題	安全でおいしい水を安定的に供給するためには、老朽化が進む水道施設の耐震化(強靱化)を推進し、災害に強い水道を構築するとともに、水質管理の充実・強化を図る必要があります。
市の取組	集中監視システムを活用し、水質検査や施設の運転管理などの維持管理業務を適切に行うとともに、計画的に浄水場の統合や基幹管路の耐震化(強靱化)を実施するなど、長寿命化を踏まえた必要な施設整備を進め、安全でおいしい水を安定して供給します。
市民・地域・事業者等の取組	●市民や事業者は、ライフライン <sup>*225</sup> としての上水道の重要性を理解し、安定供給を確保するため、水を大切に使います。

② 水道事業の健全経営の維持

現状と課題	水道事業は、健全な経営状態にありますが、今後の人口減少などにより料金収入の減少が予想されることに加え、将来的に施設の更新や耐震化などにおいて多額の投資が必要となることから、事業の効率化や収益確保などにより健全経営を維持していく必要があります。
市の取組	国庫補助金を活用した施設の統廃合や更新、民間委託の推進などによる事業運営の効率化により、コストの縮減と費用の平準化を図ります。あわせて、主要財源である水道料金の収納率向上や適切な料金体系の設定により、健全経営を維持します。
市民・地域・事業者等の取組	●市民や事業者は、上水道の重要性を認識し、水道料金を納期限内に納付します。

まちづくり指標

指標名 (協働の取組番号)	指標の考え方	方向性	実績値 2011(H23)	基準値 2016(H28) 2017(H29)	目標値 2022(H34)
① 上下水道等の整備の満足度	市民アンケートにおいて、上下水道などの整備状況を、満足と感じる市民の割合	↑	80.8%	79.0%	90.0%
① 水道管(基幹管路)耐震化率	水道管(基幹管路)耐震化の進捗状況【累計】	↑	—	15.3%	40.7%
① 浄水場施設数	浄水場施設の統合状況	↓	3施設	3施設	2施設
② 水道事業経常収支比率 <sup>*58</sup>	水道事業の健全化の状況(経常費用に対する経常収益の割合)	↑	102.3%	120.7%	121.0%
② 水道事業自己資本構成比率 <sup>*88</sup>	水道事業の健全化の状況(負債や資本に占める自己資本の割合)	→	95.8%	96.1%	96.1%
② 水道料金の収納率	水道料金の収納状況(合計収納率) <sup>*66</sup>	↑	96.4%	96.1%	96.9%

関連する主要施策

- ◆ (39)持続可能な都市基盤整備の推進→P142
- ◆ (42)下水道事業の充実→P148

関連する個別計画

- ◆ 公共施設等総合管理計画
- ◆ 上下水道ビジョン
- ◆ 水道事業経営戦略
- ◆ 北播磨広域定住自立圏共生ビジョン



施策 1 上下水道事業の充実

主要施策(42) 下水道事業の充実

将来あるべき姿

公営企業としての経営原則を踏まえ、下水道事業を健全に経営し、適切に下水道を整備・更新することにより、公共用水域の水質が保全され、快適な生活環境が維持されています。

また、雨水排水施設の整備などにより、浸水被害が軽減されています。

協働の取組

① 下水道の安定処理

現状と課題	快適な生活環境の形成を目的として集中的に下水道整備を進めてきたことにより、今後、下水道施設の老朽化が集中することから、その対策が急務になっています。
市の取組	長寿命化を踏まえた下水道施設の計画的な整備と適切な維持管理により、快適な生活環境を維持します。また、老朽化が進む施設の統廃合を進めるとともに、水洗化や不明水対策に取り組みます。
市民・地域・事業者等の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民は、下水道の正しい使用方法を守って、異物などを流さないようにします。</li> <li>●事業者は、下水道法の規定に基づく下水排除基準を遵守するとともに、異物などを流さないようにします。</li> </ul>

② 下水道事業の健全経営化

現状と課題	下水道事業は、これまでに集中的に施設整備を進めてきたため、維持管理経費などが経営を圧迫し、毎年度欠損金が発生している状況です。今後の人口減少などで使用料収入の減少が予想されることに加えて、施設の老朽化や耐震化対策に多額の投資が必要となることから、事業の効率化や施設の統廃合、収益確保などによる経営の健全化に取り組む必要があります。
市の取組	国庫補助金を活用した施設の統廃合や更新、民間委託の推進などによる事業運営の効率化により、コスト縮減や費用の平準化を図ります。あわせて、主要財源である下水道使用料の収納率向上や適切な使用料体系の設定により、経営の健全化に取り組みます。
市民・地域・事業者等の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民や事業者は、下水道の果たす役割を認識し、下水道使用料を納期限内に納付します。</li> </ul>

③ 雨水排水施設の整備

現状と課題	宅地開発などによる都市化の進展や、予測を超える局地豪雨、台風などにより、浸水に対するリスクが高まっています。
市の取組	市街化区域などの下水道整備対象区域については、既設水路などのストックを活用しながら雨水排水施設の整備を進めます。また、地理的要因などにより既設水路だけでは浸水対策が図れない区域については、個別対策を行います。
市民・地域・事業者等の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域は、管理する水路の泥上げやゲート操作などの管理を適切に行います。</li> <li>●地域(ため池管理者)は、大雨の前に、調整池の役割をもつため池の水位を下げておきます。</li> <li>●事業者などは、開発に係る必要な手続を済ませてから事業に着手し、調整池の設置等により、既設水路などに過度な負担をかけないようにします。</li> </ul>

まちづくり指標

指標名 (協働の取組番号)	指標の考え方	方向性	実績値 2011(H23)	基準値 2016(H28)	目標値 2022(H34)
① 上下水道等の整備の満足度	市民アンケートにおいて、上下水道などの整備状況を、満足と感じる市民の割合	↑	80.8%	79.0% 2017(H29)	90.0%
① 下水道水洗化率	下水道事業の推進による水洗化の進捗状況【累計】	↑	90.7%	94.1%	94.7%
① 汚水処理施設数	汚水処理施設の統合状況	↓	12施設	12施設	6施設
② 下水道事業経常収支比率 <sup>*59</sup>	下水道事業の健全化の状況(経常費用に対する経常収益の割合)	↑	84.6%	96.7%	101.0%
② 下水道事業自己資本構成比率 <sup>*88</sup>	下水道事業の健全化の状況(負債や資本に占める自己資本の割合)	↑	47.0%	53.2%	59.4%
② 下水道使用料の収納率	下水道使用料の収納状況(合計収納率 <sup>*66</sup> )	↑	97.2%	98.0%	98.7%
③ 流下能力不足による床上浸水被害件数	雨水排水施設の整備による床上浸水被害の抑制状況	→	1件	0件	0件

関連する主要施策

- ◆ (39)持続可能な都市基盤整備の推進→P142
- ◆ (41)上水道事業の充実→P146

関連する個別計画

- ◆ 公共施設等総合管理計画
- ◆ 上下水道ビジョン
- ◆ 下水道事業経営戦略

安取雨水ポンプ場完成イメージ

